

実習テーマ	女子学生の応募増加に向けた方策の検討
実習場所	本部 人事部 人事課 (千葉・稲毛)
所属・学年	神戸大学大学院 人間発達環境学研究所人間発達専攻表現系 博士前期課程 1年
実習期間	2018年8月14日(火)～2018年8月17日(金)

QST サマースクールに参加しようと思ったのはなぜですか？

小学生の頃きつづ光科学館ふおとんに伺い楽しく過ごした思い出があり、その運営を行う QST に興味を持ちました。そして新卒就職情報サイトを通して、QST が実施する QST サマースクールで「女子学生の応募増加に向けた方策の検討」という事務系の実習テーマの応募があることを知りました。自分が学んできたジェンダー論という学問を、社会の中でどう活かせるか考えるきっかけにしたいと考えたため、今回のサマースクールに参加しました。

どんな実習をしましたか？

女子学生の研究職への応募増加に向けた方策の検討と提案を行いました。

- ・女子学生が就職先を選ぶ際に重視する事柄を既存の調査から抽出
- ・他の研究開発法人が行う男女共同参画に向けた取組と採用広報の方法を調べ、QST の行っている取組と比較することで QST の強みと弱みを明示
- ・女性研究者の方へのインタビューを実施
- ・QST の弱みを改善するための策を提案

一番印象に残ったことは何ですか？

QST ならではの、HIMAC と回転ガントリーの見学です。見学を通して放射線医療、特に重粒子線がん治療に関して詳しく知ることが出来ました。

HIMAC がイオンを 1 秒間に 100 万回回転させ光速の 80%もの速さに加速させること、そして、回転ガントリーが 360 度回転することでどこからでも照射出来るものであるため、患者さんにとってより優しい治療が可能になることを伺い、感動しました。見学の際には文系の私にも分かりやすいように説明して頂けて有難かったです。

●代表的な 1 日の流れ

09 : 30	開始
09 : 30～10 : 30	1 日の流れを確認、調査
10 : 30～12 : 00	HIMAC の見学
12 : 00～13 : 00	昼休み 職員の方々と一緒に昼食
13 : 00～13 : 30	低線量影響実験棟の見学
13 : 30～15 : 00	女性研究者の方 2 名にインタビューを実施
15 : 00～18 : 00	調査、1 日の調査結果を報告
18 : 00	終了

実習の様子



<HIMACの見学>



<女性研究者へのインタビュー>



<最終日のプレゼンに向けて資料作成>



<最終日のプレゼン>



<プレゼンを終えて受入部署の方々と集合写真>